

第64期 中間報告書

2022年11月1日～2023年4月30日

ORVIS



株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第64期第2四半期累計期間(2022年11月1日～2023年4月30日)の中間報告書をお届けいたしますので、ご高覧いただき、当社への一層のご理解を賜りたいと存じます。

主力の木材事業において、前期はウッドショックによる木材価格の高騰から業界全体が活況を呈しておりました。しかしながら、当期に入りその反動減により、輸出用梱包用材等に加え、建設市場の低迷から新規開拓によって獲得した集成材の分野など、総じて厳しい事業環境となりました。

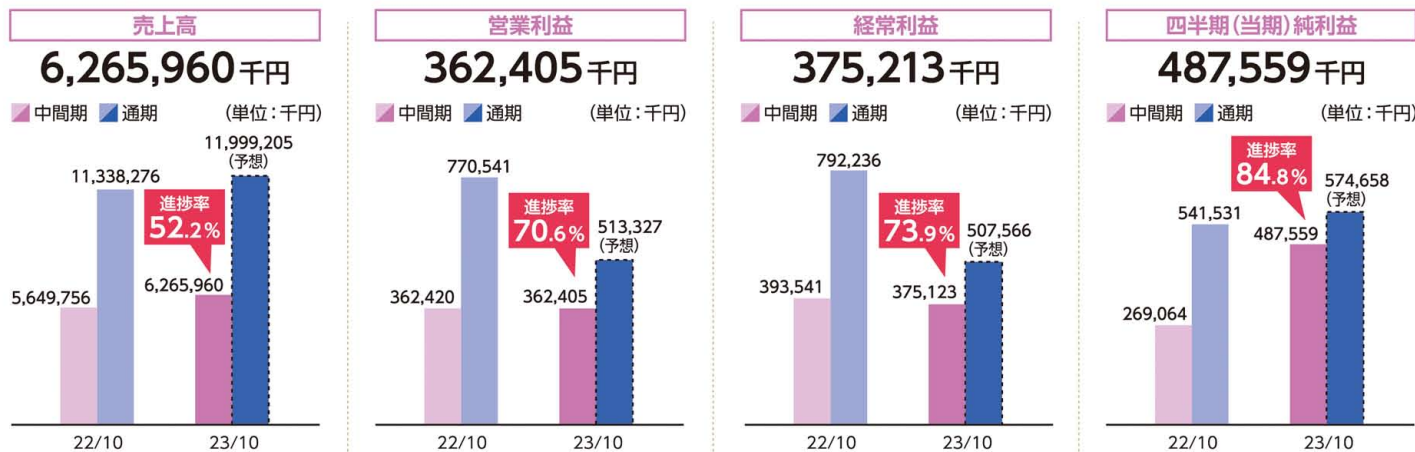
このような環境のもと、福山工場において生産効率改善のための設備投資に着手し、引き続き新規顧客・休眠顧客の掘り起こしや販路の開拓を行い、その継続した取り組みの成果によって業界全体が大きく低迷する中でも同工場は高い稼働率を維持するなど、当社の成長を牽引する事業として今後も成長を加速させてまいります。

その結果、第2四半期累計の売上高は62億65百万円(前年同四半期比110.9%)、営業利益は3億62百万円(前年同四半期比100.0%)、経常利益は3億75百万円(前年同四半期比95.3%)、四半期純利益は特別利益として賃貸用不動産等の売却に係る固定資産売却益2億76百万円の計上により4億87百万円(前年同四半期比181.2%)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長 中浜 勇治



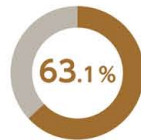
当第2四半期累計期間における業績は、2023年3月14日の「2023年10月期第2四半期(累計)業績予想及び2023年10月期通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期業績予想(営業利益、経常利益及び当期純利益)のそれぞれ7～8割の進捗率となっておりますが、業界全体が低迷している木材事業の受注動向の推移や為替(米ドル)の急激な変動に加え、ハウス・エコ事業の資材価格の高騰に伴う販売価格への転嫁の可否等、不透明な要因が多数あることを考慮し、現時点において通期業績予想を据え置いております。

木材事業



ニュージーランド松及び国産スギを原材料とした梱包用材等の製造・販売、全国から国産材(杉・桧・北海道カラ松等)を仕入れ、販売を行っています。

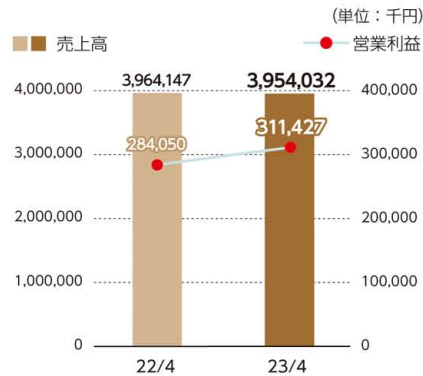
- 新規顧客の開拓や休眠顧客の掘り起こし、新たな販路の開拓に注力。
- 供給量・価格の双方で安定感のある国産スギの生産を約7割まで引き上げ、工場の稼働率を維持。
- 同業他社に対してフリッチの販売が好調に推移、工場の高い稼働率に貢献。
- 梱包用材等のマーケットの落ち込みの中でも原木消化量及び製品出荷量は前年同四半期比横バイを維持。



売上高構成比

売上高
3,954,032千円
前年同四半期は **3,964,147**千円

営業利益
311,427千円
対前年同四半期比 **9.6%増** ↑



太陽光発電売電事業



広島県・山口県・愛知県県の3県17ヶ所(合計出力規模約13MW)において、太陽光発電システムで作られた電気を全量電力会社へ販売しています。



売上高構成比

売上高
200,707千円
前年同四半期は **206,069**千円

営業利益
115,071千円
対前年同四半期比 **4.2%増** ↑

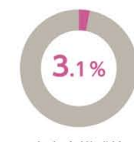


- 大きな修繕もなく安定した稼働を維持したが、天候不良や出力制御の影響もあり若干の減収。
- 減価償却費の減少により増益。
- 当社従業員による定期的なメンテナンスを実施。

ライフクリエイト事業



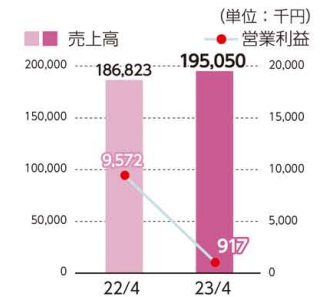
山口県周南市において、ゴルフ場(中須ゴルフ倶楽部)と広島県福山市において、フィットネスクラブ(スポパル緑町クラブ)の運営を行っています。



売上高構成比

売上高
195,050千円
前年同四半期は **186,823**千円

営業利益
917千円
対前年同四半期比 **90.4%減** ↓



- ゴルフ場部門で3月に単月来場者数過去最高を更新。増収に貢献。
- ゴルフ部門で快適な環境作りのため、経年劣化による設備の更新を計画実施したことにより減益。
- フィットネス部門でSNS告知や早朝営業など集客力の向上に注力。

ハウス・エコ事業



プレハブハウスの製造・販売、仮設建物等のリース、一般建築及び太陽光発電システムの請負を行っています。

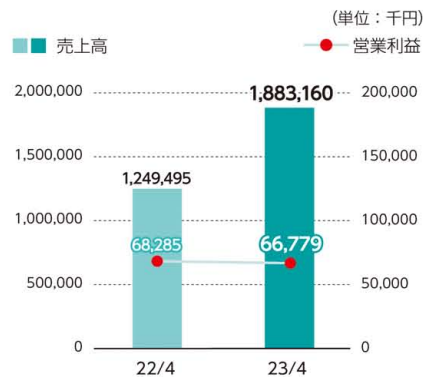
- 重量鉄骨造建築・システム建築等による大型案件の受注活動を強化。
- 受注活動強化策の成果が着実に現れ始めたことにより増収、受注残高も前年同四半期比23.9%増加。
- 鋼材価格等の建設コスト高騰に対する価格転嫁の遅れにより、一部案件で利益率の悪化を招き減収。



売上高構成比

売上高
1,883,160千円
前年同四半期は **1,249,495**千円

営業利益
66,779千円
対前年同四半期比 **2.2%減** ↓



不動産事業



広島県福山市において、不動産の賃貸(2棟)を行っています。



売上高構成比

売上高
33,009千円
前年同四半期は **43,220**千円

営業利益
22,168千円
対前年同四半期比 **17.9%減** ↓



- 賃貸マンションを2棟売却(広島県広島市1棟・広島県福山市1棟)。
- 保守メンテナンスの充実を図り、入居者様の利便性の向上に努める。
- 現存2棟の稼働率は8割超。

木材事業

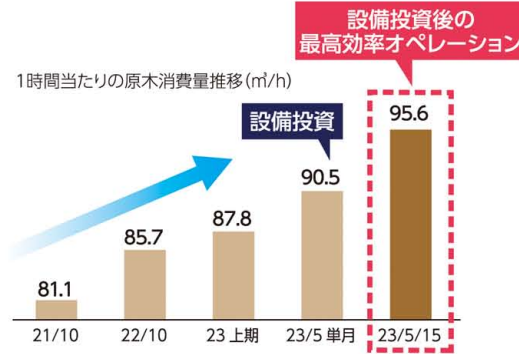
生産効率向上に向けた設備投資を実施

木材事業部において、製材ラインの渋滞を解消する設備投資の実施により生産効率の向上を図りました。その結果、各工程の生産性と作業量の差が小さくなり、工程間の連結がスムーズになりました。設備投資実施後の1ヶ月間の生産効率は前期比5%UPを達成、単日では前期比11%を超える日もあり、早くも成果を得られています。

現状マーケットは冷え込んでおりますが、市場が回復した際にはこの度の設備投資によるコスト低減が大きく収益に寄与することを見込んでいます。



増設された搬送ライン(下段)



設備投資後の最高効率オペレーション



渋滞が解消された製材ライン

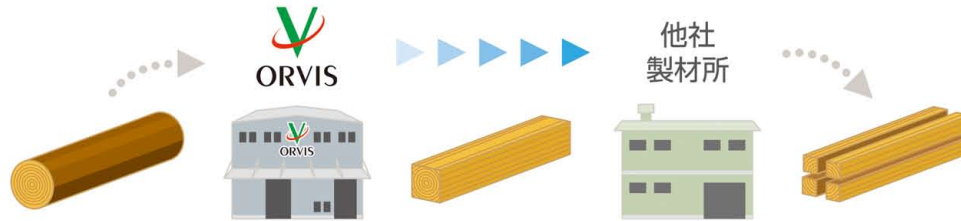
木材事業

更なるシェアアップを図り販売を強化



フリッチの製造風景

丸太から四面を落とした「フリッチ」という角材を他社製材所へ販売し、更なるシェア拡大を図っています。丸太と比較してフリッチであれば人手不足や大型製材設備を持たない製材所でも加工が容易であり、フリッチの販売により工場は高い稼働率を維持しています。



フリッチ



通常製品

ハウス・エコ事業

利益面では課題が残るも、受注は好調を維持

ハウス・エコ事業で、競争力向上・高単価物件の営業強化などの取り組みを続けてきた結果、足元の受注残高は増加傾向にあり、当第2四半期では21億10百万円と前年同四半期と比較して4億7百万円(23.9%)増加しております。



工事の様子



工事の様子

受注残高増加！



ライフクリエイト事業

単月来場者数、過去最高更新

中須ゴルフ倶楽部において、猫型配膳ロボットの導入や乗用カートの新調、コース管理の徹底など快適なプレー環境の提供により近隣のゴルフ場との差別化を図ってまいりました。その結果、単月ベースでの来場者数が過去最高を更新しました。



ゴルフコース



導入した猫型配膳ロボット

貸借対照表

(単位：千円)

	第63期末 2022年10月31日現在	第64期第2四半期末 2023年4月30日現在
流動資産	5,925,899	6,606,156
固定資産	7,070,423	6,734,864
有形固定資産	6,898,624	6,509,382
無形固定資産	17,315	14,373
投資その他の資産	154,483	211,108
資産合計	12,996,323	13,341,020
流動負債	3,838,710	3,903,419
固定負債	4,834,705	4,679,381
負債合計	8,673,415	8,582,800
株主資本	4,302,760	4,728,299
資本金	695,594	699,615
資本剰余金	523,594	527,615
利益剰余金	3,084,753	3,502,250
自己株式	△ 1,182	△ 1,182
評価・換算差額等	20,146	29,920
純資産合計	4,322,907	4,758,220
負債純資産合計	12,996,323	13,341,020

大株主（上位10位）（2023年4月30日現在）

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中浜 勇治	292,332	16.61
(株)和 幸	164,300	9.34
中浜 勇	142,937	8.12
藤井 實	69,100	3.93
鹿野産業(株)	56,900	3.23
肥田 亘	45,000	2.56
大阪中小企業投資育成(株)	44,000	2.50
山本 康司	40,000	2.27
中山 恒一	28,100	1.60
山口 信吉	25,000	1.42

(注)持株比率は、自己株式1,262株を控除して計算しています。

損益計算書

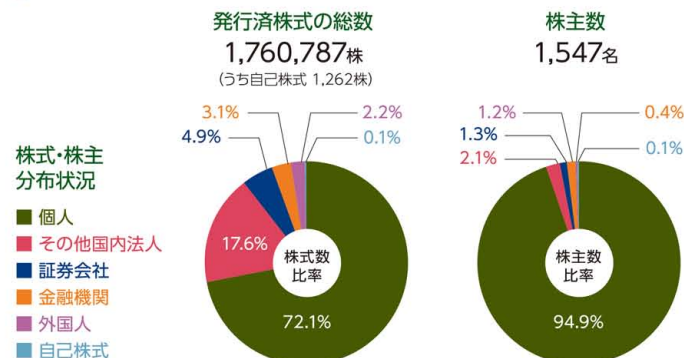
(単位：千円)

	第63期 第2四半期累計期間 自 2021年11月1日 至 2022年4月30日	第64期 第2四半期累計期間 自 2022年11月1日 至 2023年4月30日
売上高	5,649,756	6,265,960
売上原価	4,632,471	5,186,435
売上総利益	1,017,285	1,079,524
販売費及び一般管理費	654,864	717,119
営業利益	362,420	362,405
営業外収益	64,897	32,287
営業外費用	33,775	19,570
経常利益	393,541	375,123
特別利益	-	276,746
特別損失	-	72
税引前四半期純利益	393,541	651,796
法人税、住民税及び事業税	109,451	209,471
法人税等調整額	15,026	△ 45,273
四半期純利益	269,064	487,599

株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	毎年1月開催
一単元の株式数	100株
基準日	定時株主総会 毎年10月31日 期末配当 毎年10月31日 中間配当 毎年 4月30日
公告の方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。 [公告掲載URL] https://www.orvis.co.jp/ir_advertising/
上場証券取引所	東証スタンダード市場
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先)	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 (電話照会先) ☎0120-288-324

株式の状況（2023年4月30日現在）



会社概要（2023年4月30日現在）

商号	株式会社オービス
設立	昭和34年(1959年)11月
資本金	699,615,853円
従業員数	189名 (外、平均臨時雇用者28名※1日8時間換算)
本社所在地	広島県福山市松永町六丁目10番1号
監査法人	有限責任 あずさ監査法人

役員（2023年6月13日現在）

代表取締役社長	中浜 勇治
専務取締役	梅田 孝史
常務取締役	谷本 泰
取締役	井上 清輝
取締役	土田 光典
取締役	川岡 公次
取締役(社外)	小山 幹夫
常勤監査役(社外)	松村 清治
監査役(社外)	長井紳一郎
監査役(社外)	近藤 哲英



ORVIS 株式会社オービス

〒729-0104
広島県福山市松永町六丁目10番1号
TEL 084-934-2621
URL <https://www.orvis.co.jp>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを使用しています。